

白山都市計画地区計画の変更（白山市決定）

都市計画白山市笠間新・宮保新地区地区計画を次のように変更する。

1 地区計画の方針

名 称	白山市笠間新・宮保新地区地区計画	
位 置	白山市笠間新一丁目の全部及び笠間町、宮保新町の各一部	
面 積	約 6. 7 h a	
地区計画の目標	<p>本地区は、近年人口が著しく増加している白山市において、J R 加賀笠間駅に近接するなど交通の便に優れていることや、金城大学、市立松陽小学校など文教施設に近接していることなど、住宅地需要が急速に高まっている地区である。</p> <p>これらを背景に、周辺の住環境と調和した良好な住宅地の整備を目的に、土地区画整理事業により整備を進めているところであるが、本地区計画は、土地区画整理事業による単なる基盤施設整備にとどまらず、より魅力とうるおいのあるまちづくりの実現を図ることを目標とする。</p>	
区域の整備・開発及び保全に関する方針	土地利用の方針	<p>地区の土地利用は、住宅地を主体に、住環境の保全に支障のない中小規模の店舗等を許容しながら、敷地の細分化の防止により、周辺地域との調和のとれた、利便性の高い、緑豊かな魅力ある街並みの形成を図る。</p>
	地区施設の整備の方針	<p>本地区における地区施設は、土地区画整理事業により整備されており、本地区計画においては、今後も地区施設の機能、環境が損なわれないよう維持保全を図るものとする。</p>
	建築物等の整備方針	<p>「建築物等の用途の制限」、「建築物の敷地面積の最低限度」、「壁面の位置の制限」、「建築物等の高さの最高限度」、「垣又はさくの構造の制限」を定め、良好な環境な住宅地の形成を促すものとする。</p> <p>また、本地区における建築物の建築にあたっては、防音効果の高い建材の使用に努めるものとする。</p>

2 地区整備計画

地区整備計画	地区の区分	地区の名称	笠間新地区	宮保地区
		地区の面積	約 4. 8 h a	約 1. 9 h a
	建築物等の用途の制限	本地区で建築できる建築物は、建築基準法別表第 2（は）項に掲げる建築物とする。		
	建築物の敷地面積の最低限度	1 6 5 m ²	2 0 0 m ²	
	壁面の位置の制限	敷地境界線から建築物の壁面又はこれに代わる柱などの面までの距離の最低限度は 1. 0 m とする。		
	建築物等の高さの最高限度	1 2 m		
	垣又はさくの構造の制限	本地区における垣又はさくの設置にあたっては、緑化に努め、解放性のある構造とするものとする。		

「区域は、計画図表示のとおり」

理 由

市町村合併に伴い、一体の都市として総合的に整備、開発及び保全を図るため、「松任都市計画区域」、「美川都市計画区域」、「鶴来都市計画区域」を「白山都市計画区域」として統合し、併せて地区計画についても、白山都市計画地区計画に統合を行い、字名の変更に伴う名称及び位置の変更や用語の改正なども行うために地区計画を変更する。